



日本慢性期医療協会認定 第1回ケアマネジャー講座 開講について

～そのケアマネジメント、片寄っていませんか～

【開講日】平成25年1月26・27日(土・日) 【会場】東京研修センター(東京都新宿区)

2025年に向けての地域包括ケアシステム構築のためには、何より多職種連携が重要であることには異論がない。そして、その「多職種」の要となってオーケストラで言えば、正に「指揮者」役を担う職種がケアマネジャーである。

しかし、厚生労働省主管による「介護給付費分科会」や「介護支援専門員(ケアマネジャー)の資質向上と今後のあり方に関する検討会」の議論の中で、ケアマネジャーの資質向上のための要素の一つとして最も大きな課題として言われているのが、医療と介護の連携を図るための「医療的な視点の欠如・知識不足」である。介護支援専門員制度の発足時には、看護師等の医療系職種からのケアマネジャーも多く輩出していたが、今や現場で実際にその職種に当たっている大多数は、福祉系のケアマネジャーである。今後の高齢化の加速から見ても、慢性期医療が関与しない介護はなく、また介護のない慢性期医療はない。地域医療のコーディネーターである医師とケアマネジャーとの連携こそが、地域包括ケアの鍵を握っているのである。

そこで、「良質な慢性期医療がなければ、日本の医療は成り立たない」と謳っている当協会として、ケアマネジャーの医療知識の向上、そして医療も含めた地域連携の促進のために、「日本慢性期医療協会認定・ケアマネジャー講座」を開設する運びとなった。本講座は、必ずや全国で日々奮闘しているケアマネジャーのさらなるステップアップに貢献できるものと確信している。多くのケアマネジャーにご参加頂き、日本のケアマネジメントの質の向上に寄与することを期待している。

平成24年10月31日

日本慢性期医療協会
会長 武久洋三
担当副会長 池端幸彦
研修委員長 美原 盤

日本慢性期医療協会認定 第1回ケアマネジャー講座 LECTURE SCHEDULE 全2日間・講義10単位

(予定)

平成25年1月26日(土)

9:50～10:00	開講式・オリエンテーション
10:00～11:20	「医療連携概論 ～医療がわかるケアマネジャーを目指して～」 講師:武久洋三(日本慢性期医療協会会長)
11:30～12:50	「これからのケアマネジャーに期待されること」 講師:松岡輝昌(厚生労働省老健局老人保健課介護保険データ分析室長)
13:40～15:00	「ケアマネジメントに求められる地域一体型リハビリテーションの考え方」 講師:齊藤正身(全国老人デイ・ケア連絡協議会会長)
15:10～16:30	「地域包括ケアシステムにおけるケアプランのあり方」 講師:筒井孝子(国立保健医療科学院統括研究官)
16:40～18:00	「ケアプランに必要な認知症の知識」 講師:伊藤弘人(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会精神保健研究部長)

平成25年1月27日(日)

9:00～10:20	「患者に寄り添う看護の実際 ～ケアプランの基本として～」 講師:秋山正子(株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション代表取締役)
10:30～11:50	「ケアマネジメントに求められる施設・在宅でよく見られる症状・疾病の理解と医療処置の基礎知識」 講師:池端幸彦(池端病院理事長)
12:40～14:00	「一人ひとりを支えるケアマネジメントを実行しよう」 講師:小山秀夫(兵庫県立大学経営研究科医療マネジメントコース主任教授)
14:10～15:30	「ケアプランに必要な薬剤の知識」 講師:秋下雅弘(東京大学大学院医学系研究科加齢医学准教授)
15:40～17:00	「ケアマネジャーに必要な医療保険・介護保険の制度を学ぼう」 講師:安藤高朗(永生病院理事長)
17:00～17:10	閉講式